

# 瑞慶山良光さんについて

昭和4年(1929年)2月1日、沖縄県大宜味村上原出身。

大宜味国民学校卒業後、大宜味青年学校に入学。1945年16歳の時、同郷の上原出身者8名と共に第二護郷隊に召集される。

約3週間の訓練を受け、恩納岳に武器、弾薬、食料を移動させていった。

米軍上陸の様子をうかがう偵察、斬り込みと称した肉弾特攻攻撃へ参加した。金武の米軍陣地攻撃の際右頬を米軍の手榴弾の破片が貫通し、奥歯4本、唾液腺を負傷する重傷を負った。

その後、撤退まで恩納岳の野戦病院の後方作業についた。身重の妻を心配しながら息絶えた親戚の最期を看取り撤退時に遺体を山中に埋めた。

戦後は、PTSDに苦しみ、地元で『幽霊兵士』と呼ばれ、私宅監視下におかれたこともあった。